

1970

1. 7	政府、米の減反政策を初めて決定			
1. 8	沖縄全軍労働解雇反対第1波48時間スト（1.19～23 第2波）	1. 8	府立文化芸術会館完成	
		1. 9	自民党、知事選候補に柴田護前自治省事務次官を決定（1.16 公明党府連、1.18 民社党府連が推薦）	
1.10	産業労働懇話会（産労懇）初会合、政府・労・使・学識経験者の4者構成協議機関			
1.20	日経連、賃金白書で生産性基準原理提唱	1.20	綾部市長選、社・共・地労協推薦の羽室清候補当選	
1.22	全国主要民間労組委員長懇談会（全民懇）結成（3月、「主要」の文字を除く）	1.31	社・共・京都総評・府市民団体協議会など23団体、「明るい民主府政を進める会」結成。蛭川知事、立候補表明	
2. 3	政府、核拡散防止条約に調印（3.5 発効）			
2.12	同盟第6回大会（～14）			2.15 春闘共闘委、組織破壊攻撃に対処する討論集
	総評臨時大会、安保反対ゼネスト方針を撤回	2.16	京都市議会、「知事六選反対」決議を可決。社・共市議団、決議は憲法・公選法違反と声	
3. 7		2.22	自民・民主・公明・京都同盟など、「京都を明るくする会」総決起大会	
3.14	大阪千里で万国博開幕（～9.13）	3. 7	府議会、言論・出版と信教の自由を守る決議を可決	
3.18	カンボジアでクーデター、シアヌーク元首追	3.11	府立丹波自然運動公園開園	
	新日本製鉄発足	3.19	京都市で総評単産委員長会議、京都府知事選挙蛭川必勝のアピール	
3.31	◇日航機「よど号」、赤軍派学生によりハイジャック（北朝鮮へ）			4.10 春闘共闘委、春闘・知事選勝利京都総決起大会、5千人
4.16	米ソ戦略兵器制限交渉（SALT）開始	4.12	知事選（投票率72.96%）、蛭川知事六選、ほかに柴田護	
4.20	社会党第33回大会（～22）、反戦系の妨害を機動隊導入で排除	4.17	大阪高裁、京都市公安条例違反事件の控訴審で、条例は違憲とした京都地裁橋本判決を退け合憲判決	
4.23	◇沖縄復帰協、同盟系労組脱退同盟、中央メーデー不参加を通告（4.27 安保・沖縄などのスローガンを外し分裂回避）			4.28 京都総評・社・共主催、4.28知事選勝利・沖縄返還統一行動京都大集会
5. 3	池田創価学会会長、学会と公明党の分離方針を表明			4.30 ◇全交連・公労協の統一スト。全自交は24時間スト、他は途中で解除
5.16	家内労働法公布	5.22	京都同盟第6回大会、書記長のポストをめぐる民間労組と官公労が対立、官公労が総退場。会長＝長野一雄（電労連）、書記長＝青木比呂志（全織同盟）	
		5.23	全自交地連、第7波統一行動、24時間ストな京都同盟大会で退場した官公労労組、京都同盟への役員派遣・会費納入保留を決める	
		5.24	京都同盟、第1回婦人の集い	
6. 6	部落解放同盟正常化全国連絡会議（正常化連）結成	6. 5	38単産アピール支持労組京都連絡会（京都統一促進懇）結成	
6.22	同盟・民社党、安保改定・民主主義を守る中央集会	6.15	京都同盟、「基地と駐留なき安保」改定へ職場集会（6.17 府内一斉ピラマキ）	
6.23	社共両党・総評・中立労連など11団体と文化人12氏の呼びかけによる統一実行委、安保条約廃棄宣言全国統一行動	6.19	中央総評・京都総評、安保廃棄・沖縄全面返還全京都大討論集会	
7. 1	◇日米安保条約、自動延長に入る			6.23 京都総評・社・共、6.23安保破棄・沖縄全面返還全京都統一大会（円山3会場）、3万5千人、デモ終了は午後10時15分。べ平連なども集会デモ（この日のデモコース府内で
7.18	共産党第11回大会（～7）、委員長＝宮本顕治、書記局長＝不破哲三	7.17	公明党府本第1回大会、本部長＝西中清	
8. 9	東京都杉並区などで初めて光化学スモッグ被害発生	9. 6	第1回京都住民議会（社・共・京都総評など実行委主催）、知事、京都市助役ら出席（9.19 乙訓住民議会、9.27 丹後住民議	
	総評第40回大会（～13）、議長＝市川誠（全駐労）、事務局長＝大木正吾（全電通）	9. 7	富井市長、病氣入院（9.25船橋助役が市長職務代理に）	
		9.16	京都市、全国初の景観条例を制定	
				9.24 京交大会（～25）、市電撤去反対・再建計画第3次案反対の方針を小差で決定（10.9 中央委員会で否決）
				10. 4 京都総評・自治労府本、全京都公害問題研究集会

				10.13	京都総評第20回大会（～14）、政党支持問題は単産一任の方針決定
		10.15	京都市、白書「市民のくらしと市政」刊行。自民党市議団、「偏向」理由に発売禁止を要	10.17	京都総評・社・共、「10.21統一行動」から反戦青年委・全共闘系学生の排除を確認
		10.21	10.21反戦デーで全共闘系学生と民青府学連系学生が京大で集会。会場確保をめぐる混乱	10.21	京都総評・社・共、10.21全京都統一大会 ◇10.21統一行動、全電通通勤デモ、全日労失対打切り反対で半日ストなど
10.24	チリ左翼統一戦線のアジエンデ、大統領選に勝利（11.3 人民連合政権成立）	10.25	宇治市長選。社・共統一候補の田川熊雄当選	11.1	全造船舞鶴分会、会社が日立造船に吸収（1971.4.1）されるため、全造船脱退決定
		11.3	京都市、四条通を初めて歩行者天国「四条ひろば」に開放	11.4	京交臨時大会、交通事業財政再建計画変更案やむなしと決定 ◇京都同盟・民社党、物価値上げ反対・減税要求・公害防止一斉地域宣伝活動（～8）
11.11	労働戦線統一推進派の民間単産幹部6人による世話人会初会合	11.15	京都障害児・者の生活と権利を守る連絡会（京障連）結成		
11.13	労働四団体、政府に対し公害・減税に関する共同申し入れ	11.18	京都総評・護憲連合・憲法会議など5団体、公害をなくし憲法を守る住民のつどい。美濃部都知事・蜷川知事出席		
11.15	沖縄で国政参加選挙実施	11.19	日本科学者会議京都支部、「市電撤去にともなう問題を明らかにするため継続審議に」と京都市・市会各派に申し入れ	11.20	松井京都総評議長ら、共産党が交通事業再建計画変更案に反対したことについて「結果的に労働者の生活改善に反対した」と批判 ◇京交労組員300人、変更案に反対する共産党市議団室前で座り込み。京教組ら50人、一階ロビーで市電撤去反対を訴え
		11.21	京都市議会、市電撤去の第3次交通事業再建計画変更案可決（共産反対）		
11.25	三島由紀夫ら、自衛隊東部方面総監部でクーデター呼びかけ。失敗におわり割腹自殺	11.26	京都勤労者学園、昨年に続き総評事務局長と同盟副会長を招いて労働問題懇談会	11.29	京都総評など、人間尊重・公害絶滅11.29京都集会
11.29	総評・中立労連・市民団体など、公害で初の全国統一行動				
11.30	社会党第34回大会（～12.2）。石橋政嗣書記長を選出				
12.7	同盟、公害をなくそう中央集会（公害追放宣言）				
12.14	ポーランド、政府の物価引上げに反対し暴動発生				

1. 20	同盟第7回大会(～22)		1. 12	日産車体京都工場臨時工(季節工)が、週5日制切替えによる収入減に反対、団交要求で250人が職場放棄(1.15 全金傘下の労組結
			1. 22	京都総評・全日自労、失対全廃粉砕京都総決起集会
		1. 28		社・共・京都総評など21団体、明るい民主市政をすすめる会結成。船橋求己助役を革新統一京都市長候補に決定
		1. 29		民社党永末英一、「京都を愛する会」を選挙母体に京都市長選に立候補。自民党府連も永末支持
2. 18	全通臨時中央委(～19)、前年末闘争総括案を否決、宝樹委員長らの総辞職を承認	2. 21		京都市長選、船橋求己当選。ほかに永末英一
2. 22	成田空港第1次強制代執行(～3.25)、反対同盟が抵抗。逮捕487人			
2. 25	労働戦線統一拡大統一世話人会初会合。発起人会発足を断念、拡大世話人会を母体に推進する確認			
3. 3	総評第41回臨時大会(～4)、「だれでも1万円を」の春闘方針			
		3. 20		府議会、公害防止条例案可決
		4. 1		メーデー実行委、厚生大臣を相手どり、メーデー会場京都御苑使用不許可取り消し請求を京都地裁へ提出
		4. 8		府公安委、メーデー会場について、「今年限り」の条件で二条城前広場を許可
4. 10	バングラディッシュ独立宣言			
4. 11	統一地方選挙、美濃郡都知事再選、大阪で黒田一知事誕生	4. 11		地方選挙。府会＝自民21、社会15、共産12、民社3、公明2、無所属8、京都市会＝自民24、共産18、社会12、公明9、民社8、無所
		4. 22		府医師会、健康保険法改正案に反対し一斉休診。健保改悪粉砕・医療危機突破京都集会
		4. 27		「京都の市電を守る会」結成
		4. 28		京都総評・社・共、核も基地もない沖縄全面返還要求安保破壊4.28統一行動京都大会(5.19沖縄ゼネスト連帯統一行動)
		5. 14		蜷川知事、関電新宮津火力発電所建設について正式に拒否したと表明
5. 19	沖縄ゼネスト、沖縄返還協定交渉に抗議して県労協など24時間スト。46都道府県で連帯の集会・デモ			
		5. 31		京都府、憲法記念府民のつどい、美濃郡・黒田・蜷川三知事講演
6. 1	勤労者財産形成促進法公布・施行			
	沖縄返還協定、調印			
6. 17	◇沖縄県祖国復帰協、県民無視の返還協定調印に抗議する県民総決起大会			
	◇同盟、沖縄返還協定に不満の見解			
6. 27	第9回参議院選挙。自民後退、社会・共産前環境庁発足	6. 27		参議院選挙。当選＝自民1、社会1
7. 1	◇日本医師会、健保料引き上げ要求で保険医総辞退(～28)			
7. 7	国鉄、国労・動労の春季闘争に対し、解雇・免職68人を含む25,158人の国鉄史上最大の処分通告			
		7. 8		京都の市電を守る会、10万人の署名をそえ市議会に請願
		7. 9		京都の市電を守る会・交通理論研究会・日本科学者会議、都市交通のあり方を考える全国シンポジウム(～10)
	キッシンジャー米大統領補佐官、秘密裡に北京へ。周首相と会谈			
		7. 15		公務員共闘、賃上げ4月実施を要求して30分～1時間の時間内集会
		7. 18		京都私学教職員組合連合結成。日教組と京都総評加盟を決議
7. 31	総評第42回大会(～8.4)。大木事務局長は拡大世話人会を認知せず、全民懇も否定と発			
8. 3	民社党臨時大会、委員長＝春日一幸			
	ニクソン米大統領、ドル防衛非常措置発表(8.16 東京市場、史上最大の暴落・ドルショック)			
8. 15				
8. 28	日本円、変動相場制に移行。1ドル=342円	9. 3		京都の市電を守る会と市交通局、市電撤去をめぐる公開討論会
		9. 9		全京都民間社会福祉施設職員処遇改善要求総決起集会、経営者と労組が共同行動、府庁・京都市役所までデモ
9. 13	中国林彪副主席、クーデターに失敗し、亡命途中で墜死			
		9. 4		京医労など、病院閉鎖に反対し加茂川病院抗議集会

9. 15	総評・中立労連・社・共など、健康で安心できる老後をつくる全国大集会				
9. 16	成田空港第2次強制代執行、警官3人死亡、双方に負傷者多数			9. 21	総評マル生不当労働行為調査団、向日町運転所梅小路機関区などで行動 京都総評も調査団派遣
10. 8	公労委、国労のマル生運動救済申し立てに不当労働行為と認定(11.10 磯崎総裁謝罪し事態收拾)	10. 14	環境庁、メーデー会場の京都御苑使用許可申請を自然環境そごうとして不許可	10. 7	鉄労福知山地本、生産性向上運動(マル生)推進を決議
10. 25	国連総会、中国の国連加盟決定、国府脱退声明	10. 21	京都総評・社・共、10・21国際反戦デー京都統一大集会	10. 25	国労向日町運転所分會、マル生粉砕決起集会、構内デモ
11. 10	沖縄ゼネスト、県労協・沖教組・沖労連など返還協定粉砕24時間スト	11. 4	ベトナム人民支援委員会京都センター、インドシナ支援募金1千万円を突破と発表	11. 1	京都総評第21回大会(～2)、議長=福井房之助(京交)、のち結成20周年記念レセブ
11. 24	衆議院、自民党単独で沖縄返還協定を可決	11. 9	労働経済文化研究会(労文研)結成 京都同盟が中心となり、学習・研究の組織として発	11. 15	京都総評、沖縄協定批准阻止闘争で350人中央動員(～21)
		11. 21	第2回京都住民議会	11. 22	京都総評・社・共、沖縄協定強行「採決」抗議・佐藤内閣打倒・国会解散要求11.22京都大集会
		11. 24	京都総評・護憲連合・憲法会議など5団体、憲法記念府民のつどい	11. 25	京都同盟、佐藤内閣打倒総決起集会・ちょうちんデモ
		11. 29	大映京都、赤字を理由に全員解雇(12.1 大映労組、ストに突入)	11. 25	11.26 京都ゴルフ東キャデー労組、就業時間変更をめぐり日祝日を除いて午前8時から9時まで無期限時限スト
		12. 7	ベトナム人民支援委員会京都センターのインドシナ人民支援募金によるレントゲン車、ベトナムに向け神戸港出港	11. 30	京都総評・社・共、沖縄協定強行「採決」無効・国会解散要求11.30統一行動京都大集会
12. 17	10カ国蔵相会議(～19)、1ドル308円など多国間通貨調整合意。(スミソニアン体制)			12. 31	京医労加茂川病院支部、解雇撤回・全員任意退職で和解成立(310日ぶり)

1. 17	同盟第8回大会（～19）、会長=天池清次（全金同盟）、書記長=前川一男（電力労			1. 19	京都民間共闘会議結成
				1. 21	大映京都闘争支援共闘会議結成（1.25 250人に解雇通告）
1. 28	地方民労協全国連絡協議会（全国民労協）結	1. 22	市電四条・大宮・千本線廃止		
2. 2	造船重機労連結成			1. 31	地方財政危機突破京都大集会実行委の第一次請願行動。京都総評・社・共などが大蔵・自治省と交渉
2. 19	連合赤軍による浅間山荘事件（～28. 3. 7 妙義山大量リンチ殺人事件発覚）発生	2. 5	司法の独立と民主主義を守る京都府民会議結		
2. 21	ニクソン米大統領初の訪中（2.27 共同声明）	2. 21	地方財政危機突破京都大集会（事務局は京都総評、引き続き郡部でも集会）		
		2. 26	財団法人・京都労働者総合会館設立発起人会発足		
3. 1	社・公・総評など、日中国交回復実現国民集会。社・公初の1日院外共闘			2. 27	京都地方民間産業労働組合協議会（京都民労協）結成。同盟・新産別・中立系234組合、8万人
3. 11	労働戦線統一民間単産連絡会議（統一連絡会議）結成（従来の拡大世話会を再編）			3. 4	京都同盟第8回大会
4. 7	ニクソン米大統領、4年ぶりに北爆再開表明（4.16 ハノイ・ハイフォン爆撃）				
4. 14	海員組合、賃上げ要求などでスト（7.14まで92日間の単産最長スト）			4. 24	京都同盟、72年賞罰総決起集会
		4. 25	京都市人事委、1961年の学力テスト反対闘争における4教諭の懲戒免職処分取消し	4. 27	京都でも交運・公労協統一スト突入
4. 27	交運・公労協統一ゼネスト、私鉄大手第2波48時間スト、国労・動労24時間反復スト	4. 28	社・共・京都総評、沖縄協定反対4.28統一行動京都大集会		
5. 1	第43回メーデー、公明党参加	5. 3	城陽市誕生		
	沖縄施政権返還	5. 15	沖縄返還日、府は半ドンを返上「沖縄問題を考える日」とし、学習など各職場で行う	5. 15	京都総評・社・共、核も基地もない沖縄の全面返還、自衛隊沖縄配備・軍備用地強制収用反対、日本からのベトナム出撃反対5.15統一行動京都大集会
5. 22	ニクソン米大統領、現職大統領として初のモスクワ訪問			5. 19	公務員共闘統一スト、府職労・京都市職労早朝1時間合同職場集会など
5. 30	イスラエル・テルアビブ空港で日本赤軍が小銃乱射、100余人死傷	5. 31	民主教育をすすめる京都府民会議（教育府民会議）結成		
6. 11	田中角栄通産相、「日本列島改造論」を発表	6. 18	京滋じん肺患者同盟結成	6. 23	安保条約廃棄・沖縄全面返還・日本からのベトナム出撃反対・6.23統一行動京都大集会
	6.23 社共など14団体と文化人21人の発起によるアメリカのベトナム侵略拡大糾弾6.23統一行動	7. 3	京都消費者団体連絡協議会（京都消団連）結	6. 30	京都国税職員労組、京都総評脱退
7. 7	田中角栄内閣発足			7. 16	京都合同繊維労組、繊維労連脱退を決定
7. 24	四日市公害訴訟、企業に損害賠償の判決			7. 21	全国一般京都ゴルフ東キャデー労組に対し会社がロックアウト、ガードマン50人投入。京都総評は支援動員
8. 7	総評第44回定期大会（～11）、労働戦線統一に関する4原則7方針を確認	8. 10	京都高齢者事業団発足		
8. 15	人事院勧告、初めて4月実施（8.25 閣議決定）			9. 30	京都総評、京都ゴルフ場不当ロックアウト抗議、キャデー労組支援総決起集会（10.5 京都ゴルフ場会社側、ロックアウト解除及び東キャデー労組執行委員10人全員の解雇通告）
9. 25	田中首相、訪中（9.29 日中共同声明調印、国交樹立。日台外交関係断絶）	10. 1	向日市・長岡市誕生		
10. 3	自動車総連結成			10. 21	京都総評・社・共、ベトナム侵略糾弾・基地撤去・四次防反対・生活防衛・安保廃棄
10. 17	韓国朴大統領、非常戒厳令布告。国会解散、維新体制成立			10. 21	全国統一行動京都大集会
				10. 30	京都総評第22回大会（～31）
				11. 5	大映闘争300日突破団結大集会
11. 9	総評・中立労連など年金制度要求獲得中央大	11. 6	成田社会党委員長、蛭川知事に山田副知事の衆議院選出馬を要請（11.7 山田副知事出馬表明）		
11. 13	ILO結社の自由委、最終報告。政府・国鉄の春闘大量処分を強く批判	11. 7	民主府政の会常幹団体会議、山田副知事の衆議院選出馬問題で、府職労・京教組など社会党を批判		
11. 21	東京高裁、メーデー事件で逆転無罪判決（12.4 東京高検、上告断念）				

12. 10	第33回衆議院選挙. 自民減、共産党野党第2党に	12. 10 衆議院選挙. 当選1区=共産2、自民1、社会1、民社1. 2区=自民2、社会1、民社1、共産1 12. 27 府議会、社会党提案の同和問題に関連する「知事発言問責決議」を可決(共産党反対). 決議反対で府職連など緊急府民決起集会	12. 15 平安自動車教習所闘争大決起集会(闘争1,300日目)
--------	--------------------------	--	-----------------------------------

1. 1	70歳以上の老人医療費無料化制度発足（福祉元年）	1. 1	京都府、65歳以上の老人医療費無料化を実施（全国ではじめて）		
1. 25	同盟第9回大会（～27）				
1. 27	ベトナム和平協定調印（米・ベトナム民主共和国・サイゴン政府・南ベトナム臨時革命政府）、1.28停戦、民族自決の原則確認				
2. 10	公労協・公務員共闘、スト権奪還統一スト	2. 8	勤労者学園、総評事務局長と同盟書記長を招いて労働問題講演会		
2. 14	円、再び変動相場制に移行	2. 18	社会党府本第31回大会、蜷川府政を独断専行と批判。委員長＝大橋和孝、書記長＝山中高	3. 3	京都同盟第9回大会 ◇京都高齢者・退職者協議会結成 京都総評常任幹事会、「蜷川府政の発展をめざす3.25集会」に不参加を確認 春闘共闘委など4団体、物価値上げ・健保改善反対・年金改善要求京都大集会
3. 13	国鉄高崎線上尾駅で順法闘争に群集激高。動労は戦術ダウン、国労は中止指令	3. 19	国鉄運賃値上げ反対共闘会議、京都駅などで駅長交渉。消団連・主婦代表も参加	3. 6	
3. 20	熊本地裁、水俣病訴訟で原告全面勝訴の判決	3. 25	蜷川民主府政と革新統一戦線の発展をめざす3.25京都府民総決起集会。府立大学グラウンド、4万人	3. 11	
4. 17	春闘共闘委、初の年金統一スト。53単産353万人参加			4. 9	春闘共闘委、最賃制確立要求で京都労基局長交渉（6都府県拠点） 京都同盟、賃闘決起集会 春闘共闘委、73春闘勝利・4.17年金スト京都大決起集会（年金ストには18単産、6万人参加） ◇全金・新産別、73春闘勝利全京都金属労働
4. 24	上野駅など首都圏各駅で乗客の暴動発生			4. 12	
4. 25	最高裁、全農林警職法事件で「非現業国家公務員の争議行為は違法刑罰の対象」と判決			4. 17	
4. 27	初の交通ゼネスト。公務員共闘・民間も加わり、68単産310万人参加（春闘史上最大のゼネスト）			4. 26	公労協春闘統一スト、全通地本、左京・西陣・西舞鶴局を拠点に24時間スト、全電通・動労などもスト突入 春闘ゼネスト、24単産・7万人。交運、公労協、公務員共闘スト突入。国労全面ストに突入、京交午前8時まで、公務員共闘は自治労・京教組が半日ストなど 紛争中の大有社で組合員7人全員解雇。全商業大有社分会、解雇撤回闘争に入る
5. 15	社・共・公・総評など18団体、小選挙区制粉碎全国統一行動	5. 15	蜷川知事ら東京・沖縄・大阪・埼玉の革新5知事、小選挙区制反対の共同声明。府会自民党を除く5会派も共同声明発表。司法と民主主義を守る府民会議も反対アピール ◇社・共・公・京都総評、小選挙区制粉碎5.15全国統一行動京都集会、1万8千人	5. 15	
6. 5	初の環境週間	6. 3	民社党府連第13回大会、「建設的革新政権」の実現と蜷川府政打倒をめざす方針決定。委員長＝宮本栄八	5. 27	ストに入った京都ゴルフ東キャディー労組員、第2組と衝突し10人負傷
7. 5	共産党、中ソ核実験にも反対を表明	6. 29	蜷川知事、府職労・京教組の4.27ストで賃金カットする意思はないと表明（9月に賃金カット）	6. 8	京交半日スト、「地方公営企業の健全化の促進に関する法律案」反対の都市交統一行動
7. 13	労働戦線統一民間単産連絡会議、戦線統一は不可能と確認（事実上解散）	7. 10	京都核禁会議発足	7. 1	京都総評・京都民間共闘会議、長期争議組合支援、7.1合理化反対、権利確立討論集会
7. 30	総評第46回大会（～8.3）	7. 23	反動諸法案阻止・強行採決抗議7.23全国統一行動京都大会、社会党不参加により統一集会は中止。自治労・教組など21団体で開催		
8. 8	韓国新民党元大統領候補金大中、東京のホテルから誘拐さる（金大中事件）	8. 1	京都核禁会議、核禁集会		
9. 11	チリで軍事クーデター、アジェンデ大統領死	8. 10	大橋和孝政治経済研究所の機関紙「新ふみん」第1号発行。蜷川府政を批判		
9. 18	国連総会、東西ドイツの国連加盟承認	8. 18	第19回日本母親大会（府立体育館ほか）、京都代表団1万人が参加	8. 29	京都水道労組、びわ湖・淀川水系の水質公害を防ぐためのシンポジウム
9. 21	政府、ベトナム民主共和国（北ベトナム）と国交樹立	9. 14	反安保舞鶴実行委、自衛隊観艦式反対9.14舞鶴抗議集会（9.16安保破棄実行委も抗議集		
10. 6	ベ平連解散決議（1974.1.1解散）				
10. 12	春闘共闘委、「国民春闘」の呼称採用	10. 21	国際反戦デー統一集会是社会党不参加で中止。安保破棄実行委、反安保実行委がそれぞれ京都・府市民団体協議会、蜷川知事を励ます府市民の集い。蜷川知事の7選出馬要請		
10. 17	アラブ産油国（O A P E C）、原油価格21%引き上げ、生産5%削減を決定（第1次オイル・ショックの発端）	10. 23			

10. 28	神戸市長選で革新勝利（太平洋ベルト地帯の6大都市市長はすべて革新系に）			10. 29	京都総評第23回大会（～30）、知事選問題で紛糾、嵯川7選支持派が多数を占める
11. 1	「民間労組共同行動会議」結成			11. 1	京都市労連第29回大会、知事選問題で紛糾、休会（11.17 再開大会で反自民を確認）
11. 2	関東・関西でトイレトペーパーの買いだめパニック、以後各地で砂糖・洗剤なども			11. 6	京都同盟、インフレ反対・高福祉実現総決起集会
11. 14	共産党12回大会（～21）、民主連合政府綱領決定、沖縄人民党と合同	11. 13	社会党府本執行委、知事選候補に大橋和孝委員長を小差で決定		
		11. 17	婦人週間制定25周年記念「暮らしを考える京都婦人のつどい」	11. 20	京都春闘共闘委、インフレ阻止・生活防衛・年末闘争勝利京都労働者決起集会、5千人、京都春闘共闘委・消団連、インフレ・高物価阻止、年末一時金・インフレ手当闘争勝利、74春闘態勢確立全国統一行動京都大集会
12. 12	社・共・公3党・総評など26団体、インフレ物価値上げ・品不足に抗議し、国民生活を守る緊急集会			12. 4	全通年未闘争、中京郵便局拠点で72時間スト突入、夕刻中止
12. 21	動労臨時大会、政党支持自由を決定した札幌地本の執行権停止を決定			12. 11	
		12. 28	成田社会党委員長、大橋候補の知事選立候補撤回を表明	12. 13	京都総評緊急単産代表者会議、「民主府政をすすめる会」幹事会参加を決定

1. 7	田中首相、タイなど東南アジア5カ国歴訪、各地で反日デモ				
1. 23	同盟第10回全国大会（～25）				
2. 18	労働4団体、インフレ粉砕・生活危機突破で初の統一集会、2万5千人（2.21 田中首相と会談）	2. 18	社会党成田委員長、蛭川知事と会談、知事七選支持を表明	2. 15	春闘共闘委・消団連、インフレ阻止、物価値上げ反対、生活危機突破京都労働者総決起集
3. 3	インフレ阻止国民共闘、インフレ阻止・物価値上げ反対・生活危機突破国民大集会。全国で140万人（3.31 第2波）	2. 24	蛭川知事、七選出馬表明 ◇社会党府本大会、蛭川不支持を決定。大橋候補も白紙にもどす	3. 1	春闘第1波スト。国労と動労、梅小路・向日町で24時間ストなど
3. 5	社会党、京都府知事選で蛭川知事7選を支持	3. 5	社会党府本大橋委員長、無所属で知事選出馬を再表明（3.13 社会党中執、除名）	3. 2	京都同盟第10回大会、蛭川独裁府政の打倒を宣言。委員長＝北林英二（一般同盟）
3. 11	同盟、労働4団体による反インフレ共闘から離脱	3. 11	自民党府連、知事選挙で大橋支援決定 ◇「明日の京都を創る府民会議」結成総会、会長＝奈良本辰也、事務局長＝三上隆	3. 6	京都総評、減税闘争説明会（確定申告闘争始まる）
3. 31	全動労結成（動労分裂）	3. 25	船橋京都市長、府知事選で中立を宣言 市電烏丸線、61年の歴史に幕	3. 19	京都同盟、インフレ粉砕決起集会
4. 5	全織同盟、賃上げで13年ぶりに統一スト	4. 7	知事選挙。蛭川虎三7選、大橋和孝との差4,500	3. 31	京都総評・社・共・公・消団連、インフレ反対・国民生活防衛京都物価メーデー総決起集
4. 11	春闘共闘委第3波統一スト（～13 82単産・650万人）これまでで最大の交通ゼネスト、日教組初の1日スト	4. 12	京都地裁、1959年の府職労の安保事件で全員無罪判決	4. 11	春闘第3波統一スト。国労・動労・京交24時間、私鉄10組合48時間、全自交7組合24時間スト。自治労など公務員共闘1～24時間スト。京教組は終日スト（府下82%が休校）、民間もスト、空前の規模
4. 17	共産党、「教師＝聖職論をめぐって」発表（5.5 社会党が批判）	4. 13	東・西本願寺、基督教回京京都教区など、靖国法案の参院内閣委強行採決に抗議行動	5. 1	第45回メーデー。京都同盟は名称を労働祭から京都中央メーデーに変更
5. 25	靖国神社法案、衆議院で自民党単独可決（6.1 参議院で審議未了・廃案）	4. 21 4. 29	参議院補欠選挙、自民当選 「靖国神社法案」反対4.29京都府民集会	5. 28	京都争議団共闘、権利擁護「合理化」反対・インフレ高物価反対・京都争議団勝利をめざす決起集会
6. 11	警視庁、横枝日教組委員長を4・11ストをめぐり地公法違反容疑で逮捕	5. 4 5. 11	京都市友好訪中団、西安市を訪問し姉妹都市盟約を締結 京都労働者総合会館竣工	7. 1	京都中立労働組合協議会（京都中立）結成、12組合、1万1千人議長＝土井捷平（電機労
7. 7	第10回参議院選挙。議席差7の保革伯仲。企業ぐるみ選挙の批判高まる	7. 7	参議院選挙、当選＝自民・共産	7. 24	自治体要求統一行動連絡会議結成（京都総評・地区労協・社保共闘・食管共闘・消団連・高齢者退職者協・司法共闘・国民の足を守る府市民会議・教育府民会議）
7. 26	人事院、公務員給与改善で29.64%（定昇込み32.4%）引上げを勧告	8. 3	府議会、蛭川知事の七選直後の記者会見の発言「京都市長は知っているが船橋は知らない」につき問責決議	8. 27	大映闘争、全員就労にむけての大集会（9.1新会社に全員就労をちとり、980日ぶりに争議解決）
8. 8	ニクソン米大統領、ウォーターゲート事件で辞任（後任・フォード副大統領）			9. 19	全自教平安自動車教習所分会、5年4か月ぶりに和解協定（解雇撤回、企業再建はなら
8. 19	総評第48回大会（～22）			9. 29	京都総評・社・共・公、消費者米価・国鉄運賃をはじめ公共料金・物価値上げ反対9.29インフレ阻止京都大集会
9. 1	原子力船「むつ」で放射線漏れ事故発生（漁民ら寄港拒否） ◇全織同盟大会で「ゼンセン同盟」に名称変				
9. 10	ラロック米退役海軍少将、「日本に核積載艦が核を撤去して寄港することはない」と米議会で証言				
10. 18	自民党総務会、文芸春秋の「田中首相の金脈と人脈」を初論議	10. 21	京都総評・社・共・公、国際反戦デー全国統一行動京都大集会		
10. 26	中立労連、初の定期大会				

11. 5	日経連、「大幅賃上げの行方研究委員会」最終報告。来春闘の賃上げは15%以下に				
		11. 6	村田製作所、受注減などを理由に希望退職など合理化案提示。(組合、白紙撤回要求)	11. 6	京都総評第24回大会(～7)、支持政党問題で激論
		11. 9	12. 20 村田労組支援共闘、支援大決起集 社保共闘、第1回京都社会保障学校		
11. 18	フォード米大統領、現職大統領としては初の来日(～22)			11. 14	未組織労働者を組織する京都共同・交流センター結成、京教組・自治労などよびかけ
11. 19	春闘共闘委、11. 19統一スト、公労協・私鉄中心に秋闘としては空前の拡がり			11. 17	京都春闘共闘委・社・共・公・消団連、インフレ阻止・田中内閣退陣・秋期・年末闘争勝利京都大集会
11. 22	兵庫県八鹿で部落解放運動にかかわる八鹿高校事件発生				
		11. 24	丹後機業危機突破のための共闘会議(丹後賃機協議会・自治労など)、丹後機業危機突破・インフレ阻止・物価値上げ反対・地方財政確立をめざす丹後総決起大会		
11. 26	田中首相、辞意表明(12. 9三木武夫内閣成立)			11. 26	京都同盟、インフレ阻止福祉向上要求京都地区総決起集会 ◇京都労福協、インフレ阻止・労働者福祉運動強化京都集会
		11. 29	京都市、地下鉄烏丸線起工		
12. 5	統一戦線促進労働組合懇談会(統一労組懇)結成(統一促進懇を改組)	12. 9	社会党府本、京都市政綱領で共産党批判(12. 11 共産党反論)		
		12. 20	日本計算器、再建は不可能として峰山工場180人全員解雇、反対闘争高まる	12. 30	京都ゴルフ東キャデー労組、3年2カ月ぶりに和解解決(全員退職、解決金支給など)

1. 1	国連「国際婦人年」はじまる				
1. 10	ソニー、5日間の一時帰休を労組に申し入れ (電機・造船などで雇用調整あいつく)	1. 17	亀岡市長選挙。小島幸夫当選(共産党市長は府内で初めて)	1. 20	ホリディ・イン京都労組、3役ら6人の解雇撤回・組合破壊反対闘争開始
1. 23	同盟第11回大会(～24)	1. 30	自治体要求統一行動連絡会議、物価・失業保障・医療保障などについて対府交渉(2.24対市交渉)		
2. 10	労働4団体、政府に全国一律最賃制の法制化を申し入れ	2. 16	京都市長選挙、全党派の支持で船橋求己再選、他に2人立候補。投票率19.5%と過去最		
3. 7	経企庁、前年の国民総生産(GNP)が戦後初めて1.8%のマイナス成長になったと発表	3. 12	京都経済協議会(経営4団体で構成)、労使一時休戦を盛り込んだ「春季賞金改定交渉に臨む経営者の態度」を発表	3. 14	京都同盟第11回大会
3. 22	共産党、「自治体労働者論」を発表(自治労や社会党など批判)	3. 16	京都総評・社・共・公・消団連、インフレ・不況に反対し、75春闘勝利、国民生活を防衛する3.16京都大集会	3. 17	春闘共闘委、京経協の春闘休戦アピールに対し抗議文を手交。「公開討論会」を申し入れ(3.29実施)
3. 24	野党4党、「最賃法案」を共同で衆議院へ提			3. 31	京都同盟、京経協アピールに対し経営4団体に抗議文を手交
4. 13	統一地方選挙、東京・美濃部三選、大阪・黒田再選、神奈川・長洲当選	4. 13	地方選挙。府会＝自民21、共産13、社会10、民社6、公明6、無所属7、市会＝自民25、共産20、公明11、社会8、民社7、無所属1	4. 3	京都民間共闘、反インフレ・春闘勝利民間総決起集会 ◇京都同盟、75年度賞金引上げ総決起集会
4. 30	南ベトナム・サイゴン陥落、臨時革命政府が全権掌握			5. 7	阪急・京阪24時間スト。国労・動労両福知山地本は午後全面スト。全通は東山・北郵便局で24時間スト
5. 7	春闘共闘、私鉄・国労・動労の交通ゼネスト(～9)	5. 29	府議会、浅川亨副議長(共産)を選出(都道府県議会レベルで共産党副議長は初めて)	5. 15	反合・雇用確保拠点組合激励抗議行動。ホリディ・イン、寺内製作所などで抗議行動
5. 30	西宮市役所で管理職組合誕生(全国初めて)			5. 27	寿労組、解雇反対でスト(連日時限スト、毎水曜日半日スト、7.10希望退職者募集に切りかえ解決)
6. 4	I L O、婦人労働者の機会・待遇均等宣言採	6. 23	安保破壊京都実行委、公選法改悪阻止・反動諸法案反対・三木内閣打倒・安保廃棄6.23京都集会	6. 7	全郵政、暴力事件として全連組合員を地裁へ提訴
6. 7	太田合化労連委員長、春闘を「完全な敗北」と総括し、春闘再構築論を提唱	6. 29	国際婦人年記念第17回働く婦人の京都集会	7. 5	京都総評・民間共闘など、長期争議組合支援京都討論集会
7. 11	育児休業法公布			7. 14	全金寺内支援共闘会議結成(親企業による工場閉鎖に反対、1980.12.27三菱電機と自主再建協定)
7. 12	宮本共産党委員長・池田創価学会会長会談、不干渉・共存で一致(7.27共創協定発表、その後解釈めぐり対立)	8. 26	蜷川知事、財政危機打開で東上、各省訪問(27三木首相に地方財政配慮要望)	7. 16	京都・滋賀・大阪の府県職代表500人が上京、関係官庁・政党などに緊急財政措置など国の大幅な補助を訴え
7. 21	総評第50回大会(～24)	9. 4	臨時京都市議会、市電・市バスの値上げを可決。市電は1975年中に3線撤去付帯決議案を可決。市電を守る会など500人、市議会前で抗議集会	8. 28	京都同盟、京都市長に対し市電の廃止など申し入れ
8. 22	総評、公明党と第1回定期協議(8.29共産党とも初の協議)			9. 10	統一戦線促進京都労働組合懇談会(京都統一労組懇)発足
9. 24	東南アジア条約機構(SEATO)解散決定	10. 13	京都の市電を守る会、市電三線の撤去・市電全廃計画の策定に反対する沿線住民決起集会	9. 28	京都市立第2回大会
10. 1	国公共闘、連合体に移行し、国公労連として新発足	10. 17	京都の市電を守る会、市電三線の撤去・市電全廃計画の策定に反対する沿線住民決起集会	10. 9	全造船重機京都地協、造船重機械・関連産業危機突破京都地方決起集会
				10. 21	春闘共闘委・社・共、10・21国際反戦デー全国統一行動京都大集会

				10.29	京都同盟と民社党府連、国民運動京都中央総決起集会	
		10.30	不況・インフレ・地方財政危機を打開し、府市民のくらしと経営を守る京都連絡会（府市民団体協議会・安保破壊実行委など）、10.30府民大集会			
		11.2	社・共・京都総評など実行委、蜷川革新府政25周年記念府民大集会。8千人	10.31	京都総評第25回大会（～11.1）、議長＝山本祐司（全連）	
11.6	米国、ILOの政治化を不満として脱退通告 全自交分裂、左派は全自交全国共闘会議を結 主要先進国首脳会議、パリで開催（第1回サミット） 婦人41団体、国際婦人年日本大会 公労協、スト権奪還スト（～12.3）					
11.11						
11.15						
11.22						
11.26					11.26	公労協スト権スト突入、国鉄が全線でストップ。市電・市バス半日スト。市水道労組半日スト。府職労など1時間スト。夜、決起集会 京都同盟、国鉄京都に「不法政治ストに断固たる処置を」と申し入れ
		12.3	京都の市電を守る会、三線廃止反対の直接請求署名開始 京都府、財政危機で職員の期末勤勉手当分割支給	12.1		
		12.5	◇国際婦人年京都実行委、ヒロシマ・原爆の記録展（～10）、のべ1万人参観			
12.10	日教組、主任制導入反対半日スト ◇IMF・JC、全日本金属産業労組協議会（金属労協）と改称	12.13	国民融合をめざす部落問題京都会議結成総会			
		12.19	府議会で自民議員が府職労の「ヤミ専従問題」を追及			

				京都地裁、寺内製作所の会社更生廃止決定。 1.26 組合・会社・株主・債権者の4者で大阪高裁に廃止決定が不当と即時抗告(4.7 大阪高裁、廃止取消判決)	
1. 21	同盟第12回大会(～23)	1. 8	京都の市電を守る直接請求運動実行委(直接請求実行委)、市電廃止反対直接請求署名27万2千人分を市選管に提出	1. 23	京都市労連、総選挙に社・共両党候補のほか公明党の候補を初めて推薦決定
1. 31	国鉄、国労・動労のスト権ストに対し解雇15人を含む5,405人処分(2.14 202億円の損害賠償請求)	1. 26	西陣労働セツルメント開設(府内20番目、最後のセツルメント)	1. 30	日本レース、3割の人員整理を含む合理化案を組合に提示
2. 4	米上院外交委でロッキード社の対日工作資金問題発覚	2. 3	京都勤労者学園、シンポジウム「春闘を語る」、大木総評事務局長、前川同盟書記長など参加	2. 23	京都民労協、減税要求国民大行進、決起集会(初めての大量行動)
2. 16	ロッキード事件めぐり衆議院予算委員会の喚問始まる	2. 19	京都市議会、市電存続直接請求を否決(共産賛成、民社退席)。直接請求実行委、抗議集	3. 9	京教組、主任制度に反対する日教組統一ストで午後3時から時限スト、決起集会
3. 8	社会・共産・公明・総評など、ロッキード事件徹底追及3・8国民大集会	2. 29	社会・共産・公明と春闘共闘委・消団連、インフレ阻止・生活防衛・ロッキード糾弾京都大集会 社会・共産・公明と春闘共闘委の4者1日共闘、ロッキード事件徹底追求・自民党の金権腐敗政治糾弾3・8京都大集会 ◇府議会、南山城ゴルフ場無許可造成問題で調査特別委設置を確認(3.11 共産党府委、同ゴルフ場問題で灘井五郎前府議を除名)	3. 13	京都同盟第12回大会
3. 15	全国部落解放運動連合会(全解連)結成(正常化連を改組)	3. 8		3. 22	私立両洋高校、同校教組の組合員12人全員に解雇通告。組合、直ちに地位保全の仮処分
4. 5	中国天安門事件、故周首相追悼の花輪撤去で混乱	3. 16	国鉄山陰本線、京都・二条間の高架完成	3. 26	樫藤鉄工所、労組に「希望退職100人を募集、達しない場合は指名解雇」と申し入れ 日本板硝子労組、700人の希望退職募集に反対し、48時間全面スト突入(4.12 解決) 春闘第2波統一行動、円山、府庁、経営者協会前で計5千人が集会。京都銀行協会・丸紅京都支店などへ
4. 14	春闘共闘第4波統一行動、44単産、57万人スト。金属労協初の「集中決着」	3. 25	不況・インフレからくらしと経営を守る府民運動連絡会、府民総決起集会	4. 7	「統一メーデーをめざす懇談会」第1回懇談会(京都労働3団体6者会談) ◇樫藤鉄工所労組支援共闘会議発足、決起集会
6. 13	自民党河野洋平代議士ら6人、自民党離党(6.25 新自由クラブ結成)	3. 26	久美浜漁協、久美浜原発反対漁民総決起大会(50隻で久美浜湾をデモ)	4. 15	春闘京都総行動、経営者協会などへ抗議デモ。夜、76春闘勝利・合理化反対労働者総決
7. 2	ベトナム社会主義共和国樹立(南北ベトナム統一)	3. 31	京都市、市電3路線(今出川、丸太町、白川)廃止。船橋市長、市電全廃を公式表明	4. 20	春闘第5波統一行動、国労・動労が24時間全面スト。阪急・京阪も24時間スト、京交労組午前8時までなど 京都不立、第1回労使懇談会
7. 19	総評第53回大会(～23)、議長=楨枝元文(日教組)、事務局長=富塚三夫(国労)	4. 17	京都市、町並み保存地区に清水・産寧坂と祇園・新橋を指定(全国初)	5. 8	
7. 27	東京地検、ロッキード事件で田中前首相を外国為替管理法違反容疑で逮捕	5. 8	京都自治体問題研究所設立(5.28～29 第1回住民研究集会)	5. 23	
7. 28	共産党第13回臨時党大会(～30)、「自由と民主主義の宣言」採択	5. 23	民社党府連大会。ポスト嵯川の受け皿として「新しい京都を考える会」の結成を決定	6. 23	
8. 9	長崎市、原爆犠牲者慰霊平和祈念式典、三木首相、現職首相として初出席	5. 23	6. 4 京都労協第20回総会・創立20周年記念祝賀式	6. 28	樫藤鉄工所、人員削減などの合理化案を白紙撤回で和解
		6. 23	安保破壊京都実行委、ロッキード疑獄真相究明・革新統一戦線結成京都大会		
		7. 10	久美浜町地元住民・漁民・労組など実行委、久美浜原発反対・調査返上を求める府民大集		
		8. 28	府立ゼミナールハウス開所		

9. 9	毛沢東中国共産党主席死去		9. 1	造船重機労連京都地方協議会、京都同盟に加
			9. 25	日立造船労組舞鶴支部、社会党一党支持から社会・民社両党支持に方針変更
			9. 26	京都中立第3回大会、統一メーデーの実現へ努力など方針決定
10. 5	中立労連第3回大会、4団体共闘の拡大を基調とした方針決定	10. 1	京都市、山科区を東山区から、西京区を右京区から独立させ、11区となる	
10. 6	中国政府、文革派の江青ら「4人組」を逮捕			
10. 7	政策推進労組会議結成（民間労組共同行動会議の再編）			
10. 9	春闘共闘委、名称を「国民春闘共闘会議」と改称	10. 9	京都市議会、市電の全廃案を賛成多数で可決（2年後を目標に）	
		10. 22	京都同盟・民社党府連、社会的公正を実現する国民運動京都中央総決起集会	
10. 30	日本国家公務員労働組合協議会（国公労協）結成、全農林など6組織			
11. 3	米大統領選、民主党のカーター候補当選	11. 10	京教組など、天皇在位50年式典反対府民集会	
11. 5	政府、防衛費を対G N P比1%以内と決定	11. 24	京都労済、名称を「全労済近畿京都本部」と改称	
		12. 5	衆議院選挙。当選1区=自1、自ク1、公1、共1、民1。2区=共1、公1、自1、社1、民1	
12. 5	第34回総選挙、自民党初の単独過半数割れ			
				12. 13
12. 24	福田赳夫内閣成立			京都総評第26回大会（～14）、原水禁運動・労働戦線統一問題などをめぐり京教組など反主流派13単産の共同修正案を可決、反発した主流派は役員立候補を凍結し大会は休会に（翌年3月再開）
12. 30	労働省、組合員数は25年ぶりに減少と発表			

1. 1	E C、カナダなど200カイリ漁業専管水域宣言（日本も7月1日実施）				
1. 28	同盟第13回大会（～29）、天池会長、金属労協6単産と同盟4単産で賃闘連絡会議設置を	1. 12	京都消団連、都市ガス料金値上げ問題民間公聴会、大阪ガスとの話し合い平行線		
		1. 29	「新しい日本を考える会」京都パーティ、江田三郎ら列席		
		2. 7	京都勤労者学園創立20周年記念事業、賃金問題討論集会（2. 18記念講演会）		
		2. 10	建国記念の日不承認・軍国主義反対京都集会、2. 11 ターミナルビルまきなど		
2. 11	国民春闘共闘、1兆円減税実現3千万人署名中央行動	2. 13	自民党府連第26回再建臨時大会、初の公選で会長＝前尾繁三郎、幹事長＝高山寛		
2. 25	5野党、1兆円減税で政府に申し入れ（3. 18 6. 500億円の戻し税決まる）			2. 18	日本レース、本社工場閉鎖・220人全員解雇を通告、反対闘争高まる（11. 15 勝利）
				3. 4	京都不立第1回労働学校（～5）、以降年1回開催
				3. 5	京都総評第26回統開大会、「原水禁、反安保、護憲連合などについては京都総評として組織的対応は行わない」との常幹確認をして京都春闘共闘会議、初の減税要求統一行動（一斉確定申告など）、夜、1兆円減税要求・不公平税制をたたす京都大集会
3. 17	総評・共産党定期協議、原水禁運動の統一で合意			3. 10	
3. 26	江田社会党前副委員長、離党して社会市民連合を結成（5. 22 死去、10. 29 全国組織結	3. 20	社会党府本大会（～21）、「蟻川八選なし」の方針決定	3. 23	日本レース闘争支援共闘会議、77春闘勝利・日本レース闘争支援総決起集会
3. 28	77賃闘対策民間労組会議発足				
4. 15	春闘共闘会議、第2波統一スト、公労協全1日、公務員共闘始業時から2時間スト、50単産参加	4. 15	暮らしを守る府市民大運動実行委、「暮らしと経営を守り、民主的自治の発展、国民春闘の成功をめざす府市民大集会」	4. 2	京都3労働団体、メーデー6者会談を開き、今後は月例化することを確認
		4. 18	京都社会市民連合結成、代表＝三上隆（5. 1 社会党府本部、三上府議を除名）	4. 7	京都同盟、77賃闘京都中央総決起集会
5. 4	最高裁、全通名古屋中郵事件で「公務員法第17条の争議行為禁止は合憲」と逆転判決			4. 21	職場の自由と人権を守る京都連絡会結成（府職労・京教組など40団体）
5. 6	成田空港反対派の鉄塔撤去、機動隊と衝突			5. 12	京都国民春闘共闘、未解決組合支援総決起集
5. 19	原水協・原水禁、原水禁運動統一で合意（6. 13 原水爆禁止統一実行委員会発足）	5. 20	府、憲法・地方自治法・教育基本法施行30周年府民のつどい	6. 15	全国金属寺内製作所支部、会社更生法適用され再建闘争へ
7. 10	第11回参議院選挙、与野党逆転せず	7. 10	参議院選挙、当選＝自民・共産		
8. 3	原水爆禁止統一実行委、1977年原水爆禁止世界大会（～4 広島市、5～6 全体集会）、14年ぶりに統一開催				
8. 12	中国共産党大会（～18）、文化大革命終結直	8. 18	新自由クラブ京都結成、代表＝加地和		
	8. 17 総評第55回大会（～20）	8. 28	社会党府本、知事選の確認団体「住みよい京都をつくる府民連絡会」の結成を決める		
		9. 6	自民党、「躍進する京都をつくる会」発足	9. 11	部落解放京都地方共闘会議結成（17組合参
		9. 16	社公民3党、知事選問題で三党連絡会議設置、蟻川八選支持せずなど確認		
9. 21	化学エネルギー労協結成				
9. 26	社会党第41回大会（～28）、新執行部選出できず（27 樺崎衆院議員、田・秦両参院議員離党）			10. 2	京都不立第4回大会、議長＝八木保男（日写）、事務局長＝櫻治郎（電機労連）
9. 27	米軍機、横浜市緑区の宅地造成地に墜落、幼児2人死亡、7人重軽傷			10. 18	京都同盟、「不況克服、雇用確保、社会的公正」を実現する国民運動京都中央総決起集会、社会・公明・民社3党と京都不立メッ
9. 28	日本赤軍、日航機をハイジャック（29 政府、赤軍派6人を釈放）	9. 30	市電河原町線・七条線など廃止	10. 29	京都医療労組協議会（京都医労協）結成、京都医労連・国立医療労組京滋地協・京大職組病院支部など参加
		10. 23	民社党府連大会、「蟻川八選阻止」の方針決定、委員長＝井上上専、書記長＝上倉哲郎		
11. 1	米、ILO脱退を通告（6脱退）	11. 1	八幡市誕生	11. 7	京都総評・京都同盟・京都不立、「労働問題懇談会」の設置など不況対策と福祉行政の拡充を府と京都市に申し入れ
11. 4	労働4団体、「雇用守り失業をなくす労働4団体集会」、3年ぶりの4団体統一集会				

11. 19	エジプト・サダト大統領イスラエル訪問、イスラエルを国家として承認			11. 8	京都総評第27回大会（～9）、「蜷川府政継承」、全野党共闘を目指す方針決定
				11. 15	合繊日本レース支部、融資先の京都信金と覚書調印。京都信金、会社再建協力など組合の要求を受け入れ、争議は一応の解決
11. 26	同盟・中立労連・新産別、社会党・総評が離職者臨時措置法成立を阻害したとして、労働4団体共闘を凍結（12. 27 法案成立）	11. 26	京都総評・高退協・社保共闘、健康で安心できる老後をつくる京都大集会	11. 21	京都総評・京都同盟・京都中立、雇用と福祉を守る交流集会
11. 28	民社党第22回臨時大会。委員長＝佐々木良作			11. 24	京都総評、雇用確保・健保改悪反対・年末一時金闘争勝利・全国統一行動京都大集会
12. 13	社会党続開大会。委員長＝飛鳥田一雄	12. 5	西陣織工業組合、過剰織機の廃棄処分で織機一斉打ち壊し。丹後織物工業組合も7日から		
		12. 20	中野信夫・住谷悦治・茂山千作ら18人、民主府政を発展させる懇談会をよびかけ		
		12. 22	社会党・原水禁・護憲連合、京都平和運動連絡会議（京都平和センター）結成		
		12. 23	社会・公明・民社3党、京都総評・京都同盟・京都中立・京都市民協の4団体と初懇談、知事選での協力依頼		

1. 11	公明党第15回大会。自由党との連合、自衛隊の認知など打ち出す	1. 15	憲法を暮らしに生かす民主府政を発展させる各界懇談会、「民主府政推進各界連絡会」を		
1. 18	同盟第14回大会（～20）。公明党委員長、初めて来賓祝辞	1. 16	社公民3党、山田芳治擁立で話し合い、「革新京都をつくる府民連合」結成		
3. 26	社会民主連合（社民連）結成。代表＝田英夫 ◇成田空港反対同盟、開港阻止集会。一部が空港管制室を破壊、開港延期（5.20 開港）	1. 24	京都勤労者学園、中央労働3団体の調査部長などを迎えパネルディスカッション	3. 3	京都同盟第14回大会、社公民路線で山田芳治を知事候補に推薦（2.28 京都不立、山田芳治を推薦）
4. 13	春闘第4次統一行動、スト集中行動日（～14）、28単産実行行使	2. 3	自民党府連、知事選に林田悠紀夫参院議員を擁立	3. 7	京都総評、知事選について特定候補を支持せず、各単産の自主性に任せると決定
4. 16	世界労連大会（～22）、西欧加盟労組の世界労連離れ明確化	3. 3	民主府政推進各界連絡会、杉村敏正・京大教授の擁立を決定	3. 22	京都証券労組、赤字を理由にした会社の解散通告に対し、再建を要求
4. 24	全通、春闘決戦でのスト参加中止	4. 9	知事選挙。林田悠紀夫当選、ほかに杉村敏正、山田芳治が立候補	4. 5	京都民労協、78賃闘勝利大決起集会（賃闘での総決起集会は初めて）
4. 25	春闘第3波統一スト、交通ゼネストを軸に「官民総がかり」の闘争展開（～26）	4. 15	嵯峨川知事退任式、あと各界連絡会が知事を送る府民の集い	4. 25	公労協・公務員共闘統一スト、国労・動労全面ストなど
4. 27	アフガニスタンでクーデター。親ソ派、政権掌握、4.28 全電通、春闘の見直しを提起	4. 16	府庁表玄関に掲げられていた「憲法を暮らしの中に生かそう」のたれ幕ははずされる	5. 1	メーデー。労働3団体統一メッセージを読み上げ
6. 22	春闘共闘、事実上の敗北を認める総括、春闘問題検討委員会設置を決定（春闘賃上げ額は7年ぶりに1万円台を割る）	4. 23	参議院補欠選挙。自民当選	5. 12	◇運輸一般宮川運送分会、会社側の労使間協定破棄などに反対し、無期限ストに突入 春闘共闘会議、78春闘未解決組合闘争支援・激励京都総決起集会
7. 1	日本人の平均寿命男72.69歳、女77.95歳。スウェーデンを抜き世界最長寿国に	5. 26	京都憲法会議、憲法記念府民のつどい（府と憲法5団体共催から単独主催へ）	6. 1	京都総評・京都同盟・京都不立、最低賃金で府会へ請願行動
7. 15	総評第57回大会（～18）、「反独占・反自民」のスローガン復活、都知事選に太田薫元総評議長を推薦	5. 28	京都社民連結成、社民連と田新党結成準備会が合流、代表＝三上隆ら	6. 19	運輸一般宮川運送分会支援共闘会議結成、決起集会
8. 1	78核兵器完全禁止・被爆者援護世界大会、統一実行委で開催。広島大会（8.6～7）、長崎大会（8.8）は15年ぶりに統一	7. 12	民主教育をすすめる府民会議、府議会請願決起集会。公立高校増設・私学助成・高校三原則の存続など決議	6. 27	全国一般京自教ニュードライバー分会、9年ぶりに和解、3人の懲戒処分取り消し
8. 2	中国とベトナム、国境で衝突	8. 18	府、労働問題懇談会第1回会合（行政・労・使・学識経験者21人で構成）		
8. 12	日中平和友好条約締結	8. 31	府教委、第1回教育懇談会。「高校三原則」見直しも含め高校教育について懇談		
8. 15	福田首相、靖国神社参拝。首相の肩書きを記載し政治問題化	9. 30	京都の市電全面廃止（日本最古の路面電車83年の幕おろす。市電を守る会は烏丸車庫前で抗議集会）		
9. 20	鉄鋼労連大会（～23）、民間先行の統一を80年代初頭に実現するよう提起（ゼンセン同盟も同時期に決定）	10. 14	府議会、2人目の副知事に野中広務府議を選任（社会・公明・共産反対）	10. 18	京都同盟・民社党府連、雇用と生活を守り豊かな老後をめざす国民運動京都中央総決起集
10. 18	総評第2回批評、条件付きで民間先行を認め「労働統一に対する当面の態度」を決定			10. 27	京都総評第28回大会（～28）、書記次長選任問題で話し合いつかず休会
10. 21	10・21統一行動、過去最高の32都道府県で統一集会	11. 7	統廃合問題をめぐり銅駝中学、同盟休校（～12）	11. 7	京都民労協、全国民労協への加盟を決定
10. 23	中国鄧小平副主席、日米安保体制支持を表明				

11. 15	総評、ヨーロッパ事務所をパリに開設 ◇中国共産党、7年前の天安門事件を革命的行動と逆転評価、この頃から各地に民主化運動拡大				
11. 27	自民党総裁予備選開票、大平幹事長1位 (12.7 大平正芳内閣成立)	11. 27	一般消費税創設反対京都期成同盟、消費税反対で決起集会	11. 21	京都労働会館(旧労館)解散式。建物は「労働者総合会館別館」として存続
12. 15	ベトナム軍、カンボジア侵攻	12. 15	京都の市電を守る会解散総会(1971年4月発足)	11. 26	京都民間高齢退職者連絡協議会(民間高退連)結成
12. 18	中国共産党、市場原理活用の経済改革政策採			12. 27	運輸一般富川運送分会、同日早朝「会社側がロックアウトと称して組合事務所をとりこわし、抗議する労組員に暴力をふるい、10数人にけがをさせた」事件発生。

1. 1	米・中、国交樹立（30年ぶり）				
1. 4	全通、公労委の和解案を受諾（反マル生闘争を中止）				
1. 13	国立120大学で初の共通1次試験実施				
		1. 14	衆議院補欠選挙。当選・京都2区＝自民1、民社1 ◇自民党府連、京都市長選挙に船橋市長を推薦（他の党も推薦）		
1. 16	イラン国王、エジプトへ亡命（2.3 ホメイニ、革命評議会設置）	1. 16	同志社大学友会、大学の田辺町移転に反対しビケ封鎖。後期試験中止		
1. 30	同盟第15回大会（～31）				
		2. 5	京都勤労者学園、シンポジウム「春の賃金闘争をどう闘うか」		
		2. 11	護憲連合・憲法会議など4団体、有事立法・元号法制化反対全京都府民集会		
		2. 12	京都水問題を考える連絡会、発足		
2. 17	中国、ベトナムに侵攻	2. 18	京都市長選挙。船橋求己三選（投票率史上最低の16%台）	2. 24	京都の労働3団体、京都労基局へ時短をめぐり労使会議設置を申し入れ
3. 9	中立労連と新産別、全国労働組合総連合（総連合）結成、140万人			3. 10	京都総評第28回再開大会、人事は現状凍結で決着
				3. 14	京都同盟第15回大会
				3. 16	中小企業労働者デー全国統一行動、京都証券労組への激励と4大証券等へ抗議
3. 28	米、スリーマイル島で原発事故			4. 3	総連合京都（京都市立・新産別）、春闘勝利決起集会
4. 8	統一地方選挙。東京・大阪、ともに保守・中道系が当選、革新都・府政に幕	4. 8	地方選挙。府会＝自民21、共産14、民社6、公明6、社会5、無所属11。京都市会＝自民26、共産19、公明13、社会10、民社4		
4. 25	公労協・私鉄総連等ストに突入、4年ぶりに公労協先行、私鉄は後追い解決			4. 23	京教組、1958年の勤評、1961年の学テをめぐり行政処分について京都市教委と全面和解 ◇京都市のレッドパージ被解雇者3人、和解（再雇用・自発退職） 第50回メーデー記念レセプション
				4. 25	第50回メーデー。京都中央メーデーに林田知事初参加
5. 3	英総選挙で保守党圧勝（5.5 サッチャー政権誕生）			5. 1	
5. 11	日経連、賃金問題研究委を労働問題研究委に改組			5. 14	府警、宮川運送争議で暴力事件があったとして労使5人を逮捕（5.18 京都春闘共闘会議、ストライキ385日・運輸一般宮川運送分会支援・激励・抗議行動）
		6. 1	京滋スモン訴訟完全勝利判決と全面解決をめざす京都府民会議（スモン京都府民会議）結成（7.2 地裁判決で患者側全面勝訴） ◇京都市会、議長は自民党、副議長は共産党で各派合意、初の自・共コンビ誕生		
6. 6	元号法制定			6. 21	京都の労働3団体、共同で労働時間短縮要求のポスター5千枚を作成、府会請願行動 ◇京都証券闘争支援共闘会議、会社再建要求でターミナル宣伝、夜、総決起集会
6. 12	統一労組懇、「労働戦線の真の統一のために」を発表。労戦統一の動きを批判			10. 1	京都春闘共闘会議、第1回家計調査実施（～31）
6. 22	労働サミット（東京）			10. 20	日立造船舞鶴支部、舞鶴地労協脱退・地区同盟加盟を決定
6. 28	東京サミット（～29） ◇OPEC、原油価格の9.1%引き上げを決定（第2次石油危機）				
7. 24	総評第59回大会（～27）、労働戦線統一について民間先行を承認				
8. 5	原水禁1979年世界大会広島大会（～6）、16年ぶりに同盟・核禁会議も参加				
9. 20	中立労連第6回大会				
10. 7	第35回総選挙。自民党過半数割る	10. 7	衆議院選挙。当選1区＝共産2、自民1、公明1、民社1。2区＝自民1、公明1、民社1、社会1、共産1		
10. 16	滋賀県議会、合成洗剤追放条例可決				
10. 26	朴韓国大統領、中央情報部長に射殺される				
11. 6	統一労組懇、ナショナルセンターのあり方をめぐっての全国的討論よびかけ				
11. 12	社会・公明両党、社公中軸の政権協議で合意（10.13 公明・民社両党、中道政権構想協議会発足）				
11. 16	総評・公明党定期協議。榎枝総評議長は共産党除外の政権構想を示す				
11. 19	富塚総評事務局長、国際自由労連大会に総評幹部として初めて出席、加盟を前向きに検討すると表明			11. 21	京都総評第29回大会（～22）、運動方針と人事問題めぐり休会
		11. 25	国際児童京都会議、子どもを守る大ページェント		

12. 27	アフガニスタンでクーデター (24 ソ連軍進攻)	12. 7	一般消費税に反対する京都府民連絡会結成 (中小企業団体・京都総評・京都同盟など65	11. 29	京都同盟、「生活と雇用を守り福祉社会の実現をめざす」国民運動京都中央総決起集会
		12. 8	京都総評・京都社福協・高退協による実行委、健康で安心できる老後をつくる京都大集	12. 2	第50回メーデー記念ボウリング大会
				12. 13	京都統一労組懇年次総会、初めて事務所を設置し事務局長配置
				12. 21	京都の労働3団体、労働基準局へ業種別最賃の審議促進で抗議行動